

NSG

GROUP



NSG グループ

2018年3月期第3四半期決算報告

(2017年4月1日～ 2017年12月31日)

日本板硝子株式会社
2018年 2月2日

諸岡 賢一

代表執行役副社長兼CFO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

イアン・スミス

経理部 グループファイナンス担当ディレクター

NSGグループ 2018年3月期第3四半期決算説明会にご参加いただき、ありがとうございます。

CFOの諸岡です。

本日の説明会には、私とCOOのクレメンス・ミラー、そして経理部・グループファイナンス担当ディレクターのイアン・スミスが同席しております。

目次

1. 2018年3月期第3四半期 決算概要
2. 2018年3月期第3四半期 事業状況
3. まとめ

4ページは本日の説明内容になります。

本日は、私の方から、この目次に沿って説明いたします。

2018年3月期第3四半期 決算ハイライト



売上高	4,494億円 (+4.3%)	好調な市場環境と円安の影響により増収
無形資産償却前 営業利益	274億円 (+20%)	好調な欧州市場、高機能ガラスの業績改善、 生産性改善により増益
営業利益	259億円 (+29%)	
親会社所有者に 帰属する当期利益	△17億円	米国連邦法人税率の引下げに伴う、繰延税 金資産の取り崩し(△96億円)
フリー・キャッシュ・ フロー	△105億円	運転資本の季節変動によりマイナス。 年度末までにプラスに転換し、年度計画を 達成する見込み

事業業績は前年を引き続き上回り、堅調に推移

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

5

5ページは、今回の決算のハイライトになります。

売上高は、安定的な市場環境と円安の影響により、前年比4.3%増の4,494億円となりました。

無形資産償却前営業利益は、引き続き改善しています。欧州市場の好調、高機能ガラス事業の業績改善、生産性の改善により274億円となり、前年比プラス46億円の増益となりました。

一方で、親会社所有者に帰属する当期利益ですが、12月27日に公表しました通り、繰延法人所得税として96億円の一時的なノンキャッシュの費用を計上したことによる影響を受けております。

これは、米国の税制改正法が12月に成立したことに伴い、現行の連邦法人税率35%が2018年より21%へ引き下げられることになったためです。これにより、当社の連結貸借対照表に計上している繰延税金資産を取り崩して、当期の税金費用に計上しております。当社としましては、この税率の引下げ自体は中長期的にポジティブなものであり、今後米国で発生する税金費用が削減されることを期待しております。

フリー・キャッシュ・フローは、運転資本の季節的変動による影響を受け、マイナス105億円となりましたが、これから年度末に向けて改善していくものと見込んでいます。フリー・キャッシュ・フローの年度計画（100億円）に変更はありません。

連結損益計算書



(億円)	2017年3月期 4月-12月期	2018年3月期 4月-12月期	2018年3月期 業績予想 (当初)	2018年3月期 業績予想 (修正)
売上高	4,307	4,494	6,000	6,000
無形資産償却前営業利益	228	274	380	380
償却費*	(27)	(15)	(20)	(20)
営業利益	201	259	360	360
個別開示項目	54	(25)		
金融費用(純額)	(138)	(111)		
持分法による投資損益	8	17		
税引前利益	125	140	170	200
法人所得税	(66)	(48)		
米国連邦法人税率の変更に伴う調整額	-	(96)		
当期利益/(損失)	59	(4)	100	30
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	46	(17)	80	10
EBITDA	443	488		

2018年3月期は黒字を見込む

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

6

6ページですが、連結損益計算書になります。左から、前年同期、及び当四半期の実績、そして右半分は2018年3月期の当初の通期業績予想と12月27日に公表した修正後の業績予想を並べております。

まず、第3四半期の業績について説明いたします。営業利益は償却費の減少もあいまって前年を大きく上回り、259億円になりました。年度業績予想の360億円に沿う形で、順調に推移しています。なお、年度の営業利益予想は当初予想から修正しておりません。

個別開示項目ですが、前年は日本とマレーシアで実施したセール・アンド・リースバック取引による影響でプラスとなっています。

金融費用は、前期末の財務施策以降の借入金の削減と、支払利息の減少の効果により、前年より減少しています。

持分法による投資損益は、主にブラジルのジョイント・ベンチャーであるセブラセの業績の改善により、前年から改善しています。

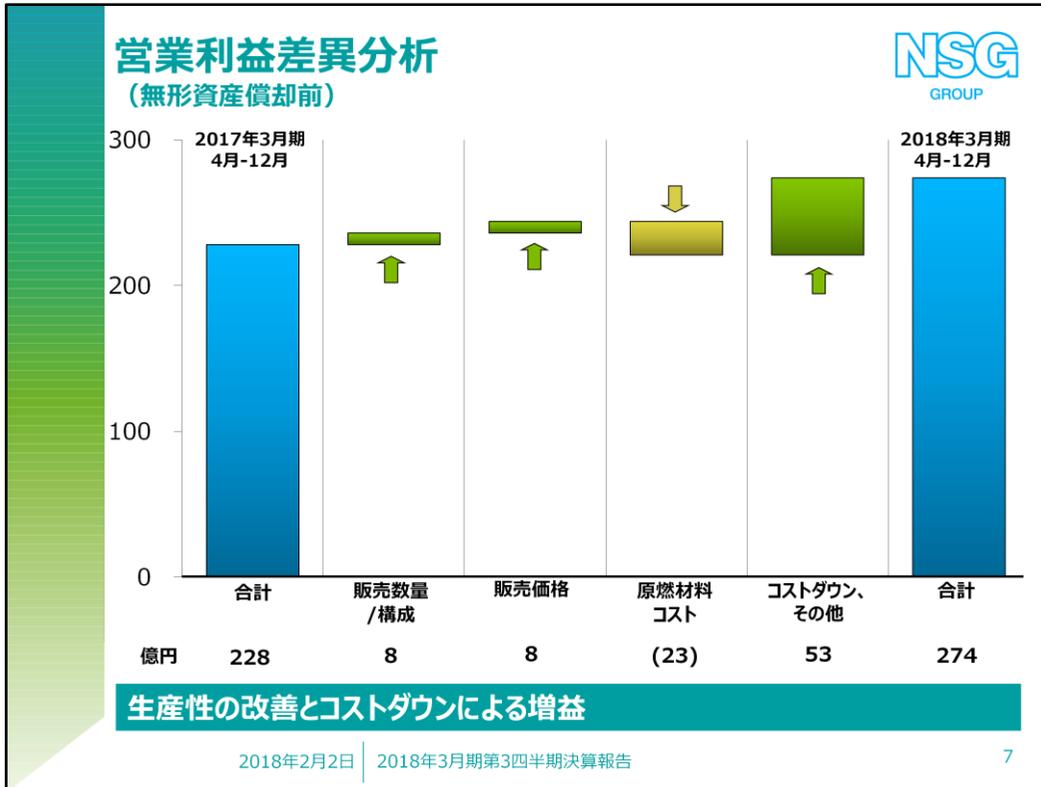
親会社の所有者に帰属する当期利益は、一過性の繰延法人所得税96億円の計上により、17億円の赤字になりました。

[注: EBITDAは、事業業績の改善を反映し、前年から10%増の488億円になりました。]

次に、12月27日に公表しました業績予想の修正について簡単に説明いたします。詳細につきましては、本資料の20ページをご参照ください。

税引前利益については、個別開示項目費用の減少等により当初予想より30億円ほど改善すると見ております。[注：税引前利益は200億円となる見込み]

一方で、一過性の繰延法人所得税を織り込んだ結果、親会社の所有者に帰属する当期利益が差し引きで70億円減少いたします。しかしながら、年度通期では黒字で着地することを見込んでいます。



7ページへ移ります。ここでは、無形資産償却前営業利益について、前年との差異について説明しています。

「販売数量/構成」ですが、欧州の自動車用ガラス事業、南米の建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業、高機能ガラス事業などで改善が見られましたが、北米や東南アジアでの建築ガラス事業における一時的な減少などによって一部相殺されています。

「販売価格」ですが、欧州の建築用ガラス事業と高機能ガラス事業の一部の製品で改善しています。

「原燃材料コスト」は、東南アジアや日本などの地域でエネルギー・コストが増加しています。

「コストダウン、その他」には、当社グループが継続して取り組んでおります生産性改善やコスト削減の効果が含まれております。その効果は、インフレによるマイナスの影響を吸収しながら、改善を見せています。

主要財務指標 (KPI)



	<u>2017年3月末</u>	<u>2017年12月末</u>
ネット借入 (億円)	3,133	3,348
ネット借入/EBITDA	5.0x	5.0x
ネット借入/純資産比率	2.3x	2.3x
自己資本比率	15.7%	17.3%
	<u>2017年3月期</u> <u>4月-12月期</u>	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月期</u>
営業利益率*	5.3%	6.1%

* 無形資産償却前営業利益

営業利益率(ROS)の改善

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

8

8ページは、主要財務KPIの一覧になります。

「ネット借入」は、運転資本の季節的な増加及び円安に伴う為替換算の影響により、前期末から215億円増加しています。

「自己資本比率」は、円安に伴う為替換算の影響により、17.3%へ改善しています。

「営業利益率」は、事業業績の改善を反映し、前年の5.3%から6.1%へ改善しています。

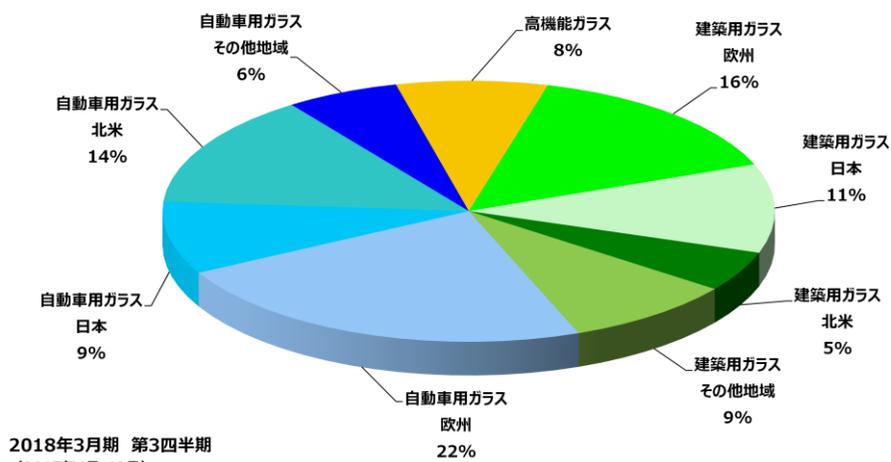
目次



1. 2018年3月期第3四半期 決算概要
2. 2018年3月期第3四半期 事業状況
3. まとめ

事業別売上高

4,494億円



2018年3月期 第3四半期
(2017年4月-12月)

グローバルに事業展開

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

10

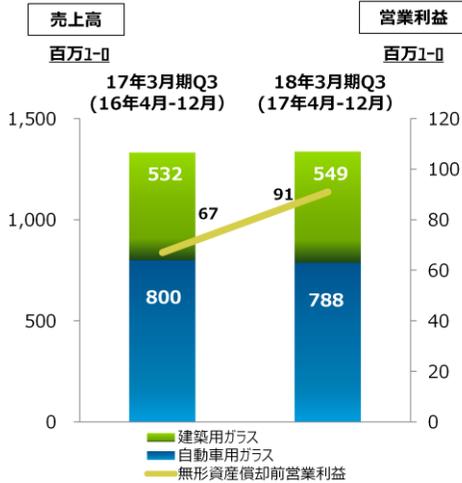
10ページへ移ります。

このスライドは、当社グループの事業セグメント毎の売上高の構成比を示しています。

[注：当社グループの売上高の構成比ですが、欧州が39%、日本が25%、北米が19%、その他が17%となっています。]

欧州

2017年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 好調な需要に支えられ、価格は堅調
- ベニスのフロート窯が再稼働

自動車用ガラス事業

- VA製品の売上増加及び生産性の改善により、増益

両事業とも業績堅調

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

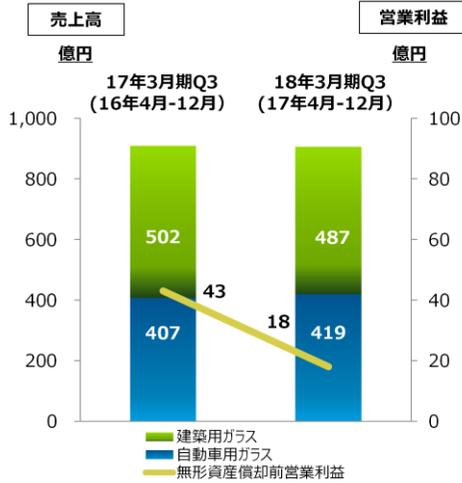
11

11ページへ移ります。ここでは欧州における当社グループの建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業の業績についてご覧いただけます。

建築用ガラス事業は、好調な需要に支えられ、価格は堅調に推移しています。11月にベニスのフロート窯が再稼働したことにより、今後、欧州地域での需要の増加に対応してまいります。

自動車用ガラス事業は、生産性の改善が進展し、増益となりました。市場は引き続き好調を維持しています。

日本 2017年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- 住宅着工件数の減少等により減収

自動車用ガラス事業

- 自動車販売台数の増加を反映し増収
- 素板製造コストアップ等の影響を受ける

低調な建築用ガラス市場の影響を受ける

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

12ページは日本です。

建築用ガラス事業は、住宅着工件数の減少等の影響を受け、減収になりました。

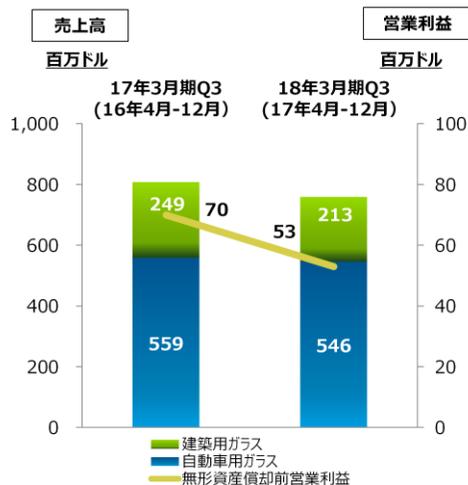
重油をはじめとする原燃料と各副資材の高騰及び労働力不足による人件費の上昇が、製造コストに重大な影響及ぼしています。また、第1四半期に発生した一過性のコスト（品質問題）の影響を受けました。

当社グループとしては、現状の需要水準であっても一定の利益に達するよう、コスト・ベースの見直しや高付加価値品の販売強化、また先般アナウンスした製品値上げも含めた対策を進めてまいります。

自動車用ガラス事業は、自動車販売台数の増加を反映し増収となりましたが、素板の製造コストアップ等の影響を受けました。これについても2017年後半より改善に取り組んでおります。

北米

2017年3月期第3四半期との比較



建築用ガラス事業

- オタワ工場の生産能力の一時的な減少により、数量減。フロート窯の再稼働により、第4四半期から数量が回復

自動車用ガラス事業

- 市場の減速により減収減益

一時的な事象による影響を受ける

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

13

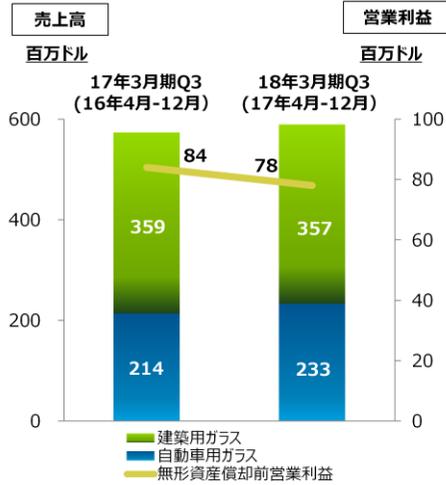
13ページの北米へ移ります。

建築用ガラス事業は、イリノイ州オタワ工場のフロート窯の修繕に伴う生産能力の一時的な減少により、出荷数量が減少していましたが、12月末に再稼働し、第4四半期からガラスの出荷が始まりました。今後少しずつ数量が回復していく見通しです。また、太陽電池用ガラスは引き続き主要顧客の設備切替の影響を受けました。

自動車用ガラス事業は、市場において数量がやや減少したことによる影響を受け、減収減益となりました。

今後、VA化による製品ミックスの改善や生産効率の改善に取り組んでまいります。

その他地域 2017年3月期第3四半期との比較



建築用ガス事業

- 各国市場は改善
- 主要顧客による設備切り替えの影響により減収

自動車用ガス事業

- 南米の市場は、引き続き改善

南米市場の回復

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

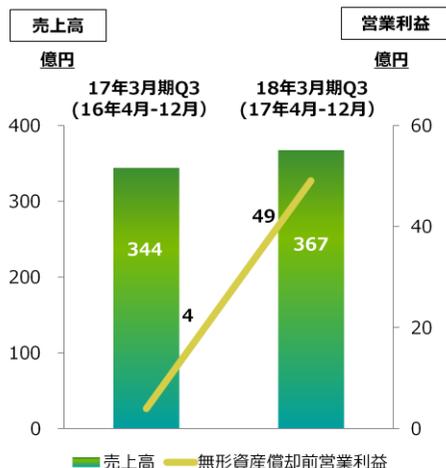
14

14ページは、その他の地域です。

建築用ガス事業では、南米や東南アジアなどの各国の市場において全般的に改善が見られました。その一方で、東南アジアは主要顧客における設備切り替えの影響を受けました。

南米の自動車用ガス市場ですが、南米の経済見通しの改善と歩調を合わせるかたちで、引き続き回復を見せています。

高機能ガラス事業 2017年3月期第3四半期との比較



高機能ガラス事業

- ディスプレイの業績改善
- プリンター用レンズ、グラスコード、バッテリーセパレーターの需要は堅調に推移

全てのセグメントで利益改善

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

15

15ページの高機能ガラス事業へ移ります。

ディスプレイは、生産性の改善と一部製品の価格の持ち直しにより、業績が引き続き改善しています。

プリンター用レンズ、グラスコード、バッテリーセパレーターの各セグメントでは、需要が堅調に推移しており、数量が増加しています。

当期の業績に一過性の有形固定資産等の売却益が含まれていることを差し引いても、各セグメントにおける改善により、高機能ガラスの利益は引き続き改善を見せています。

目次



1. 2018年3月期第3四半期 決算概要
2. 2018年3月期第3四半期 事業状況
3. まとめ

まとめ



- **2018年3月期 第3四半期（累計）**
 - 好調な市況・コスト改善により、前年同期比で事業業績が引き続き改善
- **2018年3月期第4四半期の事業環境**
 - 建築用ガラス・自動車用ガラス
 - ・ 欧州：好調な市況が継続
 - ・ 日本：自動車市場は安定
建築用ガラス市場は、短期的には改善を見込めず
 - ・ 北米：自動車市場は安定軌道へ
建築用ガラス事業では、オタワ工場が再稼働
 - ・ その他地域：東南アジアのソーラー市場の回復
南米市場の回復基調が続く
 - 高機能ガラス：コスト改善の継続とVA製品売上の拡大
- **繰延法人所得税の影響を受けるも、親会社の所有者に帰属する利益は黒字となる見込み**

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

17

最後に、17ページが本日のまとめになります。

第3四半期の事業業績は、好調な市況とコスト削減に支えられ、引き続き改善を見せております。

好調な欧州市場の影響や高機能ガラス事業における業績改善、また生産性の継続的な改善が、業績に寄与しています。

第4四半期の各地域の市場環境は、引き続き概ね安定的に推移するものと見込んでおります。日本の建築用ガラス事業は、市場環境の厳しい状況が続く一方で、東南アジアでのソーラー市場の回復が期待できると見ております。各事業ともVA戦略・生産性改善・コスト削減をベースとした業務改善は継続してまいります。

先にも申し上げましたが、この第3四半期では、繰延税金費用の影響を受けましたが、通期では黒字となることを見込んでおります。

これにて、本日の説明は終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 決算補足資料
 - 2018年3月期 連結業績予想の修正
 - 個別開示項目
 - 事業部門別・地域別売上高
 - 事業部門別・地域別償却前営業利益
 - 連結キャッシュ・フロー
 - 連結貸借対照表
 - 為替レート

米国連邦法人税率の引下げに伴う繰延税金資産の取り崩し

- 米国の税制改革法の成立により、連邦法人税率が35%から21%へ。繰延税金資産の再評価を実施
- 第三四半期に税金費用として**96億円**を計上
- これは**一過性の会計処理**であり、**税金支払義務は増加しない**
- 今後、米国の税金費用の削減に期待

2018年3月期 連結業績予想の修正

- 個別開示項目費用の減少等により、税引前利益が**30億円**改善
- 親会社の所有者に帰属する利益は差し引きで**70億円**減少するが、**通期では黒字となる見込み**

親会社の所有者に帰属する利益は黒字となる見込み

個別開示項目



(億円)	<u>2017年3月期</u> <u>4月-12月期</u>	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月期</u>
有形固定資産等の売却益	79	21
ジョイント・ベンチャー及び関連会社に対する投資の売却益	9	15
保険金の受取による利益	-	10
事業撤退による利益	9	-
設備休止に係る費用	-	(37)
リストラチャリング費用	(28)	(33)
有形固定資産等の減損損失	(16)	(5)
その他	1	4
	<hr/> 54	<hr/> (25)

事業部門別・地域別売上高 2017年3月期第3四半期との比較

(億円)	2017年3月期 4月-12月期	2018年3月期 4月-12月期	増減
建築用ガラス	1,781	1,825	44
欧州	629	703	74
日本	502	487	(15)
北米	267	237	(30)
その他の地域	383	398	15
自動車用ガラス	2,179	2,296	117
欧州	946	1,009	63
日本	407	419	12
北米	597	609	12
その他の地域	229	259	30
高機能ガラス	344	367	23
欧州	49	56	7
日本	179	191	12
北米	7	10	3
その他の地域	109	110	1
その他	3	6	3
欧州	0	3	3
日本	3	3	0
北米	0	0	0
その他の地域	0	0	0
合計	4,307	4,494	187

事業部門別・地域別償却前営業利益*

2017年3月期第3四半期との比較



(億円)	2017年3月期 4月-12月期	2018年3月期 4月-12月期	増減
事業別			
建築用ガラス	208	204	(4)
自動車用ガラス	78	77	(1)
高機能ガラス	4	49	45
その他	(62)	(56)	6
合計	228	274	46
地域別			
欧州	59	111	52
日本	7	19	12
北米	71	55	(16)
その他の地域	91	89	(2)
合計	228	274	46

*: 無形資産償却前営業利益

連結キャッシュ・フロー



(億円)	2017年3月期	2018年3月期
	4月-12月期	4月-12月期
当期利益	59	(4)
減価償却費	242	241
減損損失	17	5
有形固定資産等売却益・事業撤退による利益	(99)	(22)
法人所得税支払額	(34)	(46)
その他	(26)	30
営業活動によるキャッシュ・フロー（運転資本の増減考慮前）	159	204
運転資本の増減	(80)	(139)
営業活動によるキャッシュ・フロー	79	65
有形固定資産の取得	(169)	(234)
資産売却収入	129	74
その他	(7)	(10)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(47)	(170)
フリー・キャッシュ・フロー	32	(105)

連結貸借対照表

(億円)	2017年3月末	2017年12月末	増減
資産	7,902	7,820	(82)
非流動資産	5,278	5,432	154
のれん・無形資産	1,623	1,762	139
有形固定資産	2,452	2,576	124
その他	1,203	1,094	(109)
流動資産	2,624	2,388	(236)
現金及び現金同等物	849	519	(330)
その他	1,775	1,869	94
負債	6,565	6,382	(183)
流動負債	2,232	2,460	228
金融負債	798	1,116	318
その他	1,434	1,344	(90)
非流動負債	4,333	3,922	(411)
金融負債	3,196	2,764	(432)
その他	1,137	1,158	21
資本	1,337	1,438	101
親会社の所有に帰属する持分	1,241	1,351	110
非支配持分	96	87	(9)
負債及び資本	7,902	7,820	(82)

2018年2月2日 | 2018年3月期第3四半期決算報告

為替レート



	<u>2017年3月期</u> <u>4月-12月期</u>	<u>2017年3月期</u>	<u>2018年3月期</u> <u>4月-12月期</u>	<u>2018年3月期</u> <u>通期前提</u>
期中平均為替レート：				
円/英ポンド	142	142	146	140
円/米ドル	107	108	111	110
円/ユーロ	118	119	128	120
期末為替レート：				
円/英ポンド	144	139	152	
円/米ドル	117	111	113	
円/ユーロ	122	119	136	

NSG
GROUP